

平成17年度各分野での活躍をたたえ 児童・生徒学習賞 表彰式

2月17日(金)、平成17年度の児童・生徒学習賞の表彰式が市川市議会議場で行われました。この賞は、学校の教育活動において、県・関東・全国規模の大会等に参加し、最優秀賞、または、それに準ずる成績を収めた個人・団体に与えられるものです。

本年度は、個人19名及び、16団体が受賞し、千葉光行市長から賞状と記念品が授与されました。

みなさん、おめでとうございます。



平成17年度 児童・生徒学習賞 受賞者・受賞団体 (敬称略)

【個人】	藤城 采子 (第二中 3年)	塩島 有紗・十津川綾乃 組 (昭和学院中3年)
遠松 和樹 (中山小 3年)	三宅 謙 (第六中 3年)	
藤田 隼人 (八幡小 1年)	河野 航 (第七中 2年)	田中 成美
荻原 豪 (大柏小 4年)	大野由美子 (下貝塚中2年)	(和洋国府台女子中2年)
矢野 仁愛 (富貴鳥小 4年)	越山あゆ美 (福栄中 3年)	
雨宮 七彩 (塩浜小 3年)	青野あすか (南行徳中2年)	
井上 杏 (塩浜小 4年)	打越 武 (市川中 3年)	大柏小 保健給食委員会
重政 舞子 (国府台女子学院小4年)	榎本 優子 (国府台女子学院中2年)	富美浜小 マーチングバンド部
笹生 希望 (国府台女子学院小6年)	岡本さとみ (昭和学院中2年)	新浜小 吹奏楽部

第六中 管弦楽部
塩浜中 男子バスケットボール部
南行徳中 合唱部
妙典中 吹奏楽部
市立養護学校高等部
市川中 ハンドボール部
昭和学院中 ソフトテニス部
昭和学院中 体操競技部
昭和学院中 新体操部
和洋国府台女子中 水泳部
和洋国府台女子中

【団体】

第一中 女子バスケットボール部

教育 いち かわ

市川市教育委員会広報紙

■発行 市川市教育委員会
〒272-8501 市川市八幡1-1-1
TEL334-1111

■企画編集 市川市教育センター
〒272-0015 市川市鬼高1-1-4
TEL320-3335
FAX320-3352

広がれ! 「環境にやさしい活動」学校版環境ISO認定式

1月26日(木)、市川市役所で学校版環境ISO認定式が行われました。

学校版環境ISOは、リサイクル活動、緑化活動、省エネルギーなどの取り組みを通して子どもたちの環境意識を育てるとともに、総合的・体系的な学習・体験学習を通して、自発的な取り組みにつなげようとするものです。



平成14年度に市川市が「ISO14001」の認定を取得したことを受け、平成15年度より積極的に環境にやさしい活動を推進した学校に対して認定証を授与するものです。本年度も、5校が新たに受けました。

会場では、4校の子どもたちが本年度の取り組みについて実践発表を行いました。他の学校についても、環境にやさしい活動を工夫しながら取り組んできた様子が報告書から感じられました。

○大和田小学校：エコアップ委員会を中心に古紙回収活動、ごみ減量活動、ごみ減量作戦クイズ集会を行いました。高学年では、夏の日差しをさえぎるグリーンカーテンやエコクッキングなどの活動に取り組みました。

○稻越小学校：4年生が中心となって学校ISOの推進をしています。木を大切にする（環境を守る）ために紙のリサイクルに取り組みました。他学年への啓発をしながら、紙のリサイクルボックスの活用をしました。活動は、水、電気の使い方の見直しにも広がりました。

○福栄小学校：環境・リサイクル委員会を中心とした活動を展開しています。学校の周りのゴミ拾い、紙パックの回収、アンケートをもとにした啓発活動を行っています。回収される紙パックが2倍以上になるなど効果が上がっています。

○第一中学校：学校全体の活動として環境意識を高めるために生徒会本部と整美委員会でISO推進委員会を組織しました。整美委員会は紙資源の再利用と回収、学校美化運動、落ち葉の堆肥化に取り組み、生徒会本部は学校全体の啓発活動に取り組みました。

学校から始まった環境にやさしい活動が、家庭、地域、そして市全体へと広がっていくことが期待されます。

《平成17年度 認定校》
大和田小・稻越小・福栄小・信篤小・国府台小
平田小・中国分小・大野小・第一中・福栄中

※ ISO14001は「環境マネジメントシステム規格」で、自ら定めた環境方針に基づき、環境負荷の低減に取り組むことを目的としています。

子どもたちの安全講習会が各小・中・養護学校の教師・保護者・学校安全に関わるボランティア128名を集めて開催されました。

今日は、子どもたちの危険予知、危険回避能力を高めることに視点を置き、NPO法人CAPによるけつによる、子どもへの暴力防止プログラム「大人のワークショップ」講習を行いました。



3名の講師から「子どもへの暴力とは何か」「なぜ子どもは暴力を受けやすいのか」「では、どのようにしたらいいのか」について学びました。想定される場面で、講師が被害者の子ども役、加害者役を演じながら具体的な対処法を知らせます。そして、暴力から自分と友達の「安心して」「自信を持って」「自由に生きる」権利を守る力を身につけさせていきます。子どもたちだけでなく、周りの大人们も同じ意識を持ち、対処法を知って取り組むことが、大きな効果を生むそうです。

子どもへの暴力に対して知識や技術を知ることの大切さ、学校・保護者・地域が共通意識を持つことの大切さを学んだ講習会でした。

子どもたちに望ましいライフスタイルを 2月7日(火) ヘルシースクール推進協議会が各小・中・養護学校、幼稚園の教師・保護者を集めて開催されました。

今年度のすこやか検診の結果報告では、市川市医師会常任理事の小林靖幸先生から、メタボリックシンドロームとすこやか検診の関わりについてのお話がありました。結果報告では、市川の小・中学生の肥満度は全国より低いが、コレステロール・血圧は高めの傾向があることと、内臓型肥満は他の危険因子と関わっていることなどをグラフを基に話されました。

ヘルシースクール推進校の事例発表では、塩焼小学校からダンスエクササイズを取り入れた取り組みのお話がありました。

最後に筑波大学助教授の清水紀宏先生から、幼稚園、小・中学校における体力づくりとその連携についての講演を聞きました。「体力の概念を狭くとらえない」「前向きに、能動的に生きられる人を育てる」「短期的にやらせれば数値は上がるが、長続きしない」「育ちそびれ」をなくす指導をするなどのお話を参加者は真剣に聞き入っていました。



17年度 最優秀賞は「食育」の実践 教育実践記録論文 表彰式・発表会

教育実践記録論文事業は、教育実践活動を自らまとめて、教職員の自己啓発に役立ってきました。審査会で、最優秀・優秀・優良と認められた論文の表彰と最優秀賞を受賞した論文の発表会が、2月14日(火)生涯学習センター2階のグリーンスタジオで行われました。

したちから

舌力からせまる食育 3年4組みなさんのおかげで舌!! ~ゆっくり・じっくり・たっぷり味わおう~

市川市立大野小学校 教諭 齊藤美枝

【要旨】この教育実践記録論文は、16年度に3年生を担任した時の総合的な学習での取り組みです。

大野小学校では、各担任が学級の実態をふまえ、学級ごとに総合的な学習の年間プランを作成します。4月、子どもたちの様子をみていくと、食に関する問題点をいくつか発見し、食育を進めてみようと決心しました。この学習では、子どもと保護者が共に食に興味を持ち、学び、変容していくことが大切であると考えました。そのため、どのように授業を組み立て、家庭へのアクションをとっていけばよいのかに重点をおいて取り組んだものです。

平成17年度 教育実践記録論文 受賞者一覧 (敬称略)

《最優秀賞》 1点

○齊藤美枝 (大野小) 総合

舌力からせまる食育「3年4組みなさんのおかげで舌!!」

~ゆっくり・じっくり・たっぷり味わおう~

《優秀賞》 5点

○太田美穂子 (百合台小) 総合

自ら進んで環境を守ろうとする児童の育成をめざして

~春木川クリーンクリーン作戦を通して~

○関原一久 (大野小) 総合

省エネルギーを軸にした総合的な学習の実践

「大野小五年3組エコニコライフ・リサーチ隊！」

【活動の概要】

1. ふれる 「舌の健康診断はないの」 3時間

- (1) 「自然の食卓」町探検ビデオを観て
- (2) 学級指導「健康診断を終えて」
- (3) 日本食育協会食育指導士のお話

2. つかむ「わたしたちの舌は、ゆうしゅう?」4時間

- (1) 舌力がなかったら体験
- (2) 舌力をためそう！味覚テスト

3. 探求する 「舌力をつけよう！」 20時間

- (1) 舌ってどうなってるの? ●舌について ●濃い味について
- (2) いろんな味をじっくり味わおう ●貝だし ●お茶類 ●野菜 ●果物
- (3) 舌にやさしい和食・きびしい和食を作ろう ●だしの取り方 ●だしを生かして

4. まとめ・生かそう 「みんなで力を合わせて舌力をつけるぞ！！」 8時間

- (1) 舌力について実験・調査のまとめ
- (2) 情報発信の準備



○中嶋信子 (稻越小) 安全教育

危険を自分の目、体で感じ取り、自分の身を自分で守ろうとする子に
～2年間の安全主任としての取り組みから～

○青山了司 (福栄中) 国語

地域に伝わる民話を活かした国語単元の開発

○松井 聰 (福栄中) 社会

楽しく学ぶ社会科 ～新3Kへの挑戦～

《優秀賞》 2点

○小久保 崇 (中山小) 理科

生き物好きの児童を増やすために ～水族館運営10年史～

○佐藤多喜子 (大洲中) 総合

共に学び合うワタ作り

～平成16年度夜間学級の総合学習の取り組み～

先進性を生かして さらに実践の積み上げと共有を 学校図書館支援センター委員会

1月17日(火)学校図書館支援センター委員会が開かれ、文部科学省地域指定「学校図書館資源共有ネットワーク推進事業」の17年度の事業報告と研究協力ブロック及びグループの活動報告がされました。

議事に先立って、座長の大熊徹東京学芸大学教授(市川市教育委員)から、「全国的に国語や読書への更なる取り組みが必要とされる中、市川市は全国に先駆けて取り組んでおり、学校図書館の充実には素晴らしいものがある。なお一層の取り組みを進めてほしい。」とのお話をいただきました。

研究協力ブロック・グループからは、具体的な図書館資源活用の実践報告がされました。

《実践報告概要》

●二中ブロック 養護学校での授業参観や交流、中学生による小学生への定期的な読み聞かせ、夏休み図書館開放などを実施。

●三中ブロック 小学生と中学生の伝え合いの授業交流、各学校・幼稚園で読書講演会・国語教育の一環としての計画的な読書などを実施。

●新浜幼稚園・福栄中学校グループ 中学生の幼稚園児への読み聞かせなどの定期的な交流、読み聞かせの学習、絵本の選択・絵本作り等。

●大洲中ブロック 3校合同落語交流学習、夏休み・冬休みにおける3校合同図書館開放を実施。

●塩焼小・塩焼幼稚園グループ 幼・小一緒に読み聞かせ、塩焼タイムでの読み聞かせ、市民図書室と一緒に利用などを実施。

来年度は、①公開研究会を開催し成果を市内外に広める、②子どもたちの豊かな心と主体的に学ぶ力を育む活動実践を深めていく、③それぞれの取り組みについて情報交換を密に行うなどの確認をしました。



食文化と生活体験 太巻き祭りずし教室を開催

2月25日(土)塩焼小学校で、妙典中ブロックコミュニティクラブの「太巻き祭りずし教室」が親子55名、ボランティア3名、学校栄養士・調理師35名の参加・協力のもと行われました。

これは、子どもたちに千葉の食文化を伝えていくこうとする、市内の学校栄養士・調理師の願いと、地域での体験活動を通して子

つくって、見て、食べて楽しい祭りずしに挑戦

祭りずしは、千葉県の農家が冠婚葬祭のごちそうとして作っていたもので、大切なお米が美しく見えるように工夫したもので、切り口が花、顔、文字など色鮮やかで美しいので、つくって、見て、食べて楽しい郷土料理です。

はじめに、講師の千葉県伝統郷土料理研究会会長の龍崎英子先生のお話とデモンストレーションが行われました。祭りずしの切り口からアニメのキャラクターの顔が出てくると、子どもたちから声が上がりました。

実習では、太巻きずし「いか君」に挑戦しました。子どもたちは、学校栄養士さんや調理師さんたちから教わりながら、巻きすにご飯を広げたり、「いか君」の足にするチーズに海苔を巻いたり、体にする黄色いご飯で台形や三角形を作ったりしました。期待通りの模様になるのか少し不安そうな顔もありましたが、頑張ってつくりました。切り口から



豊かな学びを目指して 1・2月の公開研究会から

確かに豊かな学びの創造

大和田小



大和田小学校では、「確かに豊かな学びの創造」をテーマに、国語と算数を中心として授業研究を進めています。

国語のテーマは、「読むこと」を中心にした「言語生活を豊かにして

いく学習活動」です。

1月17日(火)の公開授業研究会では、一人一人を認める言葉かけや、登場人物になりきった音読、書くための具体的な手立てをとりながら、「書きたい」「言いたい」気持ちを持つ子どもの育成をねらっての授業が展開されました。

いきいきと書く子を目指して

**国
府
荷
木
小**



国府台小では、「いきいきと学習する子の育成」を目指して国語科と算数科で授業研究を進めています。

1月26日(木)の公開授業研究会では、国語の授業が展開されました。

1年生では、登場人物になりきって様子や気持ちを考えるために具体物を利用する、動作化を取り入れる、役割読みやワークシートを利用するなどの工夫をしました。

2年生は、疑問や感想から学習していく問題をつくる、音読を工夫する、考えを記録してから話し合いを進めるなどの工夫をしました。

子どもたちは先生の問いに一生懸命に考え、答えていました。

を子どもたちに コミュニティクラブと学校栄養士・調理師の協力で

子どもたちを育てていこうとするコミュニティクラブの活動の趣旨が一致して行われたものです。昨年度は2回の実施でしたが、本年度は、6月に第六中学校ブロックコミュニティクラブ（稻荷木小学校で開催）、12月に下貝塚中学校ブロックコミュニティクラブ（北方小学校で開催）、そして今回と3回実施しています。

「いか君」が現れると、子どもたちから笑顔がこぼれました。

「楽しくて、おいしい千葉の郷土料理の祭りずしを、家庭でも楽しんでほしい」と参加した栄養士さんは話していました。

「わが町いちかわ」祭りずし発表会

午後には、わが町市川市の祭りずし発表会が行われました。これまでに行われた教室参加者から募集したデザインの中から実際のすしづくりで採用された作品が発表されました。市川にかかるデザインの募集は、「市のマーク」「てこな」「ホタル」「梨」など、子どもたちの工夫が感じられるものばかりでした。

平成16年12月の第1回から、平成17年12月10日の第4回までの11作品が紹介されました。祭りずしづくりの楽しさが、さらに感じられる発表会でした。



子どもたちの作品

地域に開かれた幼稚園を目指して

大洲幼稚園

大洲幼稚園では、子どもたちが自分たちの地域に愛着を持ち、人とのかかわり方をどのようにすればよいかということを研究してきました。

地域や保護者の方が行事へ

積極的に参加すること、近所の福祉施設への訪問、近隣の小・中・高等学校との交流などを通して、様々な人とのかかわりを楽しみながら、地域の子どもとして、お互いに声を掛け合える関係になることを目指しています。



コマまわしを楽しむ園児たち

2月15日(水)の地域交流の公開研究会では、年長児は地域の方と一緒にコマまわしやゴムとびなどの遊びを楽しみ、年少児はひよこ会(未就園の3歳児)の子どもたちと交流をして、お兄さんお姉さんらしさを發揮していました。

南行徳地域の通学区域について(中間報告)

南行徳地域では近年急速に人口が増加し、特に新井小学校においては児童数の増加から、今後学区内の児童の受け入れが困難になることが予測されています。

そのため、新井小学校敷地内に校舎の増設を行うとともに、通学区域の見直しについても通学区域審議会にお願いしています。



昨年9月、通学区域審議会より学区変更の原案が提示され「意見を聞く会」や「学区変更説明会」で多くの皆様からのご要望をお聞きしながら審議を継続しています。

現在、2月6日に開催されました「第2回説明会」でいただいたご意見ご要望をもとに、検討が行われています。

新通学区域の原案	実施時期 平成19年4月1日
実施学年 平成19年度新1年生から	
新通学区域 新井小学校の通学区域のうち以下を富美浜小学校へ変更する	
在学年児童 新井3丁目	今回の変更で通学区域がかわった場合でも、在学年の児童についてはそのまま通学することができるものとする
●兄弟関係のみ認めた学校 富貴島小学校、鬼高小学校 信篤小学校、大和田小学校 妙典小学校	
●上限を設ける等制限をかけた学校 八幡小学校、行徳小学校 新浜小学校、新井小学校 大野小学校、第七中学校	

平成18年度新1年生指定校変更の対応について

教育委員会では、平成18年度の新1年生保護者に対し、1月中旬に入学通知書を発送し、発送後2月3日までの間、指定校変更の受付を行いました。

ただし、以下の学校につきましては学区内の児童・生徒数が急増していることから、次のような対応をさせていただきました。

●兄弟関係のみ認めた学校

富貴島小学校、鬼高小学校
信篤小学校、大和田小学校
妙典小学校

●上限を設ける等制限をかけた学校

八幡小学校、行徳小学校
新浜小学校、新井小学校
大野小学校、第七中学校

学校・家庭・地域が一体となった活動を推進

2月23日(木) 第3回コミュニティサポート推進委員会を開催

生涯学習センター・グリーンスタジオにおいて、各コミュニティサポート委員会関係者、学校関係者、行政関係者等166名を集めて、第3回コミュニティサポート推進委員会が開催されました。今回は、各コミュニティサポート委員会の実践発表で、各委員会を代表して、3つの委員会より発表がありました。それぞれの委員会で、学校・家庭・地域が一体となった活動が推進されている様子がうかがえました。

大洲小学校区コミュニティサポート委員会

河原清登委員長より発表があり、同委員会では、年間4回の委員会が開催され、地域の団体関係者、交番勤務の警察官、補導員、PTA、学校関係者等が出席し、毎回和気あいあいの雰囲気の中、子どもたちのことについての話し合いが行われています。

中でも、大洲小学校の各学年の先生方が毎回出席し、子どもたちの様子についてのくわしい話を聞くことができるので、話し合いでより意義深いものになっているそうです。

先生方の熱心さに、地域の方々も感銘を受けているとのお話が印象的でした。



大野小学校区コミュニティサポート委員会

山下幸治委員長、広報・書記の吉野和雅コミュニティサポート主任より発表がありました。

同委員会では、各団体の情報交換のほかに、本年度は「子どもたちの安全」を重点的に話し合い、「かけこみ110番ウォーカリー」や、下校時の子どもたちを見守る「スマイル大野・安心リレー運動」を実施しました。

また、9月の委員会では、市役所防犯対策課の担当者から防犯について、専門的な話やアドバイスをもらいました。

大野小学校区では今、コミュニティサポート委員会を中心に、学校・家庭・地域の三者が一体となって、子どもたちを守る体制を充実させているところです。



第三中学校区コミュニティサポート委員会

同委員会の副委員長である大嶋章一教頭より発表がありました。第三中学校では、生徒が積極的に地域と関わったり、地域活動に参加するなどの活動を進めています。

その情報交換や協力に向けての話し合いの場がコミュニティサポート委員会となっています。

この話し合いを生かすことで、生徒の職場体験も充実し、生徒による地域活動への参加や協力が活発に行われるようになっています。



コミュニティサポート委員会を媒介として、学校教育活動と地域活動の双方がうまくかみ合って活発な活動が展開されています。

第6回縄文体验フェスティバル

3月26日(日) 10:00~15:00 堀之内貝塚公園・考古博物館・歴史博物館広場

国史跡の堀之内貝塚と考古・歴史博物館があるという地域的な特性を活かし、子どもから大人まで、すべての人々が気軽に参加して楽しめる、新しい地域まつりを開催します。縄文人の生活を追体験できるコーナーやちょっと昔の遊び・フリーマーケット・模擬店など、楽しい企画が盛り沢山用意されています。縄文時代へのタイムスリップを楽しんではいかがでしょうか。(申し込み・参加費は不要です。)



【問い合わせ】考古博物館 TEL 373-2202

平成18年度 いちかわ市民アカデミー講座のご案内

「いちかわ市民アカデミー講座」は、市内にある昭和学院短期大学・千葉商科大学・和洋女子大学の協力を得て、開講しています。平成18年度も、受講生を募集いたしますので、多数のご応募をお待ちしています。

募集要項	定員各大学50名 受講料4,000円(年間)
受付期間	平成18年4月中旬から5月中旬までの期間で行う予定です。「広報いちかわ」や市のホームページでもご案内いたします。
学習期間	平成18年6月から平成19年2月まで(年間10回)
目的	新しい知識の習得と学習の成果を地域活動の中に生かしていただきます。
講座内容	各大学で学習テーマを設定し、各大学の専門分野を中心に、実生活に即した身近な問題や、市川に関わりのあるものになる予定です。

【問い合わせ】生涯学習振興課 TEL 334-1111(代) 内線4315・4316

ボランティア&活動サポート大募集

コミュニティクラブでは、ボランティアや活動サポーター(協力者)を常時募集していますが、18年度事業のスタートを前に、子どもたちのための活動を一層充実させるために、ボランティア及びサポーターを広く募集します。

コミュニティクラブは、「遊び」をキーワードとした様々な体験活動等をボランティアが企画し実際に運営していく事業です。

ボランティアの数は、市内全体で現在650名ほどで、小学生から年配の方まで様々です。各々のボランティアは中学校区をもとにした16の実行委員会の何れかを希望して登録していただくことになります。

また、子どもたちのリーダーとして活躍してくれる中学生・高校生・大学生のボランティアや、各活動を支える活動サポーターも広く募集しています。

子どもたちの良きパートナーとして、ともに活動していただける方をお待ちしています。

【問い合わせ】

市川市教育委員会地域教育課

TEL 047-334-1111(代) 内線4303 4304

ホームページアドレス

<http://www.city.ichikawa.chiba.jp/net/kyouiku/ed1/tiiki/ccw/home/home.htm>

自然博物館 散策会

市内の自然が豊かな場所を気軽に散策します。

1 テーマ 春の大柏川

2 日 時 3月19日(日)午前

3 場 所 市川北高校周辺

4 集合場所 お問い合わせください。

※ 参加申込は不要です。はじめて参加される方は、事前にお問い合わせください。天候不良の場合は中止です。

【問い合わせ】自然博物館 TEL 339-0477